

臨床研究内容 ホームページ公開用

1. 研究課題名称

急性期脳卒中患者における機能障害と能力障害の関連性および転帰に与える因子の調査

2. 研究の背景・目的

脳卒中リハビリテーションは廃用症候群を予防し、早期に日常生活動作の向上と社会復帰を図るために、十分なリスク管理のもとに急性期からの積極的なリハビリテーションを行うことが強く推奨されています。また最適なリハビリテーションを提供するためには患者様の最終的な動作能力、生活を予測することが重要となります。しかしながら、脳卒中後における機能予後予測（最終的な麻痺の状態や生活の状態）に関しては、先行研究は多数存在しますが、提示された予測率は低いことが現状です。

そこで本研究では急性期の脳卒中の患者様における機能障害と能力障害の関連性および退院転帰に関連する因子を分析することを目的とします。

3. 対象者および対象期間

対象期間は2010年4月～2018年3月までに当院に脳卒中にて入院しリハビリテーションを施行した患者様が対象となります。

4. 方法

本研究は、脳卒中の患者様の急性期の時点で中期・長期的な予後（最終的な麻痺を含む神経症状の状態や生活の状態）を明らかにするための研究です。上記期間の対象者の患者様の診療録より診断・病歴・検査・リハビリテーション内容などの情報より一部登録させて頂きます。

5. 個人情報の管理について

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

6. 研究協力の任意性と撤回の自由について

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表さ

れていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく担当医師にご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。データの集計の際は患者名をコード化し、個人を特定できないように配慮します。

7. 問い合わせ先（当施設研究責任者）

上記研究対象期間において該当になる方で研究に対して不都合がある場合や研究に対してご不明な点がございましたら下記の連絡先まで連絡をください。

製鉄記念八幡病院リハビリテーション部 小柳靖裕
805-8508 北九州市八幡東区春の町 1-1-1 TEL:093-671-9318